【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

■■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする

■ メールマガジン♪

■■■■■■ 研修会やイベントの開催情報

■■■■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、

■ ■■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

■目次

- 【1】西塔さん連載企画!~第 12 回「結果さえ出れば」文 西塔大海さん(さとのば大学講師)
- 【2】 【総務省主催】「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」が開催されます!
- 【3】【総務省主催】「地域おこし協力隊ポスターデザインコンテスト」が開催されます!
- 【4】GFP 北海道輸出セミナー&マッチング~札幌市で開催します~
- 【5】今週末、「北海道新規就農フェア」が開催されます!
- 【6】確定申告の季節です!

【1】西塔さん連載企画!~第 12 回「結果さえ出れば」文 西塔大海さん(さとのば大学講師)

まもなく年度末。報告会の時期ではないでしょうか。

1年間、協力隊の活動を振り返る時期です。

私は研修の中で、1年目は"指示されたこと"を優先してやってみようと話しています。 あるいは職員さんを不安にさせる前に報連相は徹底しようとも言います。

すると、「なにを今さら!」と笑われる協力隊がいらっしゃたりして。

実績とキャリアのある隊員さんならば、自信もあるのでしょう。

中には「私のアイディアでこの地域を活性化してやるんだ!」「やる気のない公務員の指示に従っていられるか!」「前例や習慣にしばられず、"自由"に動いた方が成果がでる!」という意見の方もいらっしゃいます

数百人の隊員とお会いしてきて、思うのですが、そういう方の中には『どんなやり方だって、 結果さえ出せばいい』『周りも最後には、この活動をやってよかったと認めるに違いない!』 という頑な考え方が、根底にあるように思います。

しかし・・・・

この"結果さえ"がクセ者です。一筋縄ではいきません。

何を良い結果とみなすかは、人によって違うのです。

もし、仮に協力隊がヒット商品を作って"結果を出した"と思っても、公務員的価値観からすれば、一つのヒット商品づくりよりも、平等な商店街支援をすべきと考えることもできます。悪目立ちしすぎており、他の地域づくり活動に支障が出ていると感じる住民の方もいるでしょう。「結果さえ出せばいい」は報われない考え方です。

それを全国の現場で痛いほど見てきました。涙を流す協力隊や地域の人々を見てきました。"結果さえ出せば"は通じません。

ひとりよがりにならずに、人の話を聞き、地域に寄り添う姿勢が、私たち協力隊の可能性を広 げてくれます。年度末の今だからこそ、冷静に感謝の気持ちを持って、自分の活動を見直して みませんか?

■西塔大海(さいとうもとみ)

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

- ○さとのば大学 https://satonova.org/prospective/
- ○西塔さん Facebook https://www.facebook.com/saito.motomi

【2】 【総務省主催】「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」が開催されます!

総務省より、全国オンラインイベントの開催案内がありましたのでお知らせします。 なお、3月19日(日)のイベントには、本メルマガの連載企画でもおなじみの西塔 大海 氏が ご登壇されますので、興味のある隊員さんにつきましては、ぜひご参加ください!

総務省では、例年、地域おこし協力隊制度について広くPRするとともに、全国で活躍する地域おこし協力隊員や隊員OB・OGの活動状況等の情報を地方移住や地域おこし協力隊に興味のある方に向けて発信する「地域おこし協力隊全国サミット」を開催しています。

本年度は、「現役隊員や自治体職員等を主な対象としたイベント」「地方移住や地域協力活動に関心がある一般の方を主な対象としたイベント」を各1回、オンラインにて開催する予定です。

ここでしか聞けない地域おこし協力隊の「リアル」をぜひ確かめてください。

【地域おこし協力隊全国オンラインイベント】

- ◆現役隊員・自治体職員向け
 - ·開催日時:令和5年3月9日(木)17:00 頃~
 - ・主な内容:基調講演、自治体による先進事例の紹介 等
 - ・参加申込フォーム:https://x.gd/UvMKE
- ◆地方移住等に関心がある一般の方向け
 - ·開催日時:令和5年3月19日(日)13:30頃~
 - ・主な内容:現役隊員らによるパネルセッション、オンライン交流会 等
 - ・参加申込は下記のイベント告知サイトより出来ます!

https://www.chiikiokoshitai.jp/

【3】【総務省主催】「地域おこし協力隊ポスターデザインコンテスト」が開催されます!

総務省より「地域おこし協力隊ポスターデザインコンテスト」の開催案内が届きましたので、 デザインに自信のある隊員さん、活動実績が欲しい隊員さん、ぜひ参加してみてはいかがでし ょうか?

総務省では、地域おこし協力隊制度の認知拡大、新たな担い手の掘り起こしに向けた取り組みの一環として地域おこし協力隊の制度周知を目的に、幅広く全国的に呼びかけるため、ポスターデザインコンテストを開催します!

今回のテーマは「転機」。

「地域おこし協力隊の魅力をもっと知ってほしい!」「地域おこし協力隊制度をもっと認知させたい!」という想いを持っている方は多いはず。

制度を知らない方、制度は聞いたことはあるけれど詳しくはよく分からないという方々へ向けて、地域おこし協力隊の良さが伝わるデザインを大募集します!

ご応募いただいた作品から、TURNS 編集部および特別審査員で協議のもと、入選者を選出させていただきます。

入賞作品の結果発表は、3月19日(日)開催の総務省主催の「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」内および総務省HP等で公表予定です。

◆募集内容

制度を知らない方に、地域おこし協力隊の良さが伝わるデザインを募集 テーマ〜転機〜

◆募集期間

令和5年2月20日(月)~令和5年3月6日(月)17:00まで

◆参加資格

地域おこし協力隊員(OB・OG 含む)

- ※年齢、プロ・アマ等不問
- ※未成年(応募時点で満 18 歳未満)は保護者の同意を必要とする
- ※個人、団体不問
- ※応募に際し、所属組織への許諾等が必要な場合は応募者自身で許諾を得た上で応募すること

◆留意事項

- ・全国へ向けた周知が目的のため、特定の都道府県・自治体を PR するようなテキストや画像の掲載は不可。
- ・過去に他のコンテスト等で入賞した作品、また応募中、応募予定の作品は不可。
- ・著作権、肖像権、商標権の確認、承諾手続きは応募者の責任において行うこと。

◆応募方法

こちらの URL より申し込みください。https://turns.jp/74304

【4】GFP 北海道輸出セミナー&マッチング~札幌市で開催します~

農林水産省北海道農政事務所から、札幌市で開催される、農林水産物・食品の輸出のセミナー・商談会についてのお知らせです。

農林水産物の輸出を考えている隊員の方、興味のある隊員の方は、ぜひ参加してみてください!

===GFP 北海道とは===

GFP とは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称であり、 農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトです。

全国版の GFP と連携し、北海道に密着した支援体制として昨年 11 月に「GFP 北海道」を発足しました。GFP 北海道では、北海道内の農林水産事業者・食品産業事業者等、初心者から経験者まで皆様にきめ細やかなサポートを行います。詳細は GFP 北海道のホームページを御覧ください。(https://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/gfph.html)

===GFP 北海道輸出セミナー&マッチング in 札幌===

道内全エリアの一次産品や加工食品等の輸出拡大のため、先進的な輸出取組を行う生産者・メーカー様をお招きしたセミナー、北海道産品を積極的に取り扱う国内商社・バイヤー様との商談会を対面にて実施します。

(https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/syokuryo/syohi/attach/pdf/230208-1.pdf)

◆開催日時

2023年3月20日(月) 13:00~18:00 ※予定

◆開催会場

札幌パークホテル (https://park1964.com/)

住所:北海道札幌市中央区南10条西3丁目1番1号 (地下鉄南北線「中島公園駅」より徒歩1分)

◆参加費

無料※会場までの移動費については、参加者負担となります

- ◆プログラム(予定)
 - 一部:13:00~15:30 頃
 - ・支援メニューの紹介・輸出先進事業者によるセミナー※どなたでも参加可能
 - ・行政機関等から輸出拡大に向けた支援策について紹介
 - ・先進的に輸出を行う事業者・国内商社によるセミナー
 - 二部:15:30~18:00 頃
 - ・商社との商談会&交流会(個別商談会、グループ商談会)
 - ・参加対象者は、北海道の生産者/加工食品メーカー限定です

====イベント申込(事前申込要)=====

◆セミナー参加

申込期日:2023年3月10日(金)

- ・申込みフォーム:https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1673328866mcQBtyYs
- ・参加対象:事前申込みによりどなたでも参加可能

◆お問い合わせ先

農林水産省 北海道農政事務所 事業支援課 輸出促進グループ

TEL: 011-330-8810

【5】今週末、「北海道新規就農フェア」が開催されます!

新規就農を考えている協力隊員の方必見です!

令和5年3月4日(土)に「北海道新規就農フェア」が開催されます。 道内の多数の市町村が出展し、地域の生の情報を収集できる貴重な相談会となっております。 なお、参加無料、予約不要、退出自由、服装自由となっておりますので、ぜひご参加ください!

【北海道新規就農フェア】

◆開催日時

2023年3月4日(土) 10:30~16:00

◆開催会場

ホテルポールスター札幌 2F・ポールスターホール

住所:北海道札幌市中央区南4条西6丁目 (JR 札幌駅南口より徒歩5分)

◆お問合せ先

公益財団法人北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター

TEL: 011-271-2255

【6】確定申告の季節です!

北海道庁地域政策課よりご案内です!

地域おこし協力隊の皆さん、今年も確定申告の季節がやってきました。地域おこし協力隊は任 用形態によって年間所得額の確定方法が異なりますので注意が必要です。

皆さんは、どの任用形態でしょうか?必ず確認の上、進めて行きましょう!

- ・会計年度任用職員(フルタイム型)
- ・会計年度任用職員(パートタイム型)
- · 外部団体雇用型
- ・個人事業主型(雇用関係なし)
- ・その他

協力隊の確定申告は、

- ・必ず自治体職員さんと相談して進めましょう!(確定申告が不要な場合もあります)
- ・担当職員さんとコミュニケーションを取り、相談しながら進めることで、今後のリスク回避 にもつながります!

詳しくは国税庁のホームページをチェック!

https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/index.htm

令和4年分の申告・納税期間は2023年(令和5年)2月16日(木)~3月15日(水)までです。みなさまの協力隊活動がより充実したものとなりますように!

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取組紹介でも構いません。他地域の皆さんの取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします。掲載を希望される方は、sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp までご連絡ください。

- ◆発行 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課
- ◆住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
- ◆電話 011-204-5791 (直通)
- ◆FAX 011-232-1053
- ◆御意見・お問い合わせ(当メールマガジンに関すること)

sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから

http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/

◆北海道地域おこし協力隊ホームページ

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm

- ◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。
- ◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。